

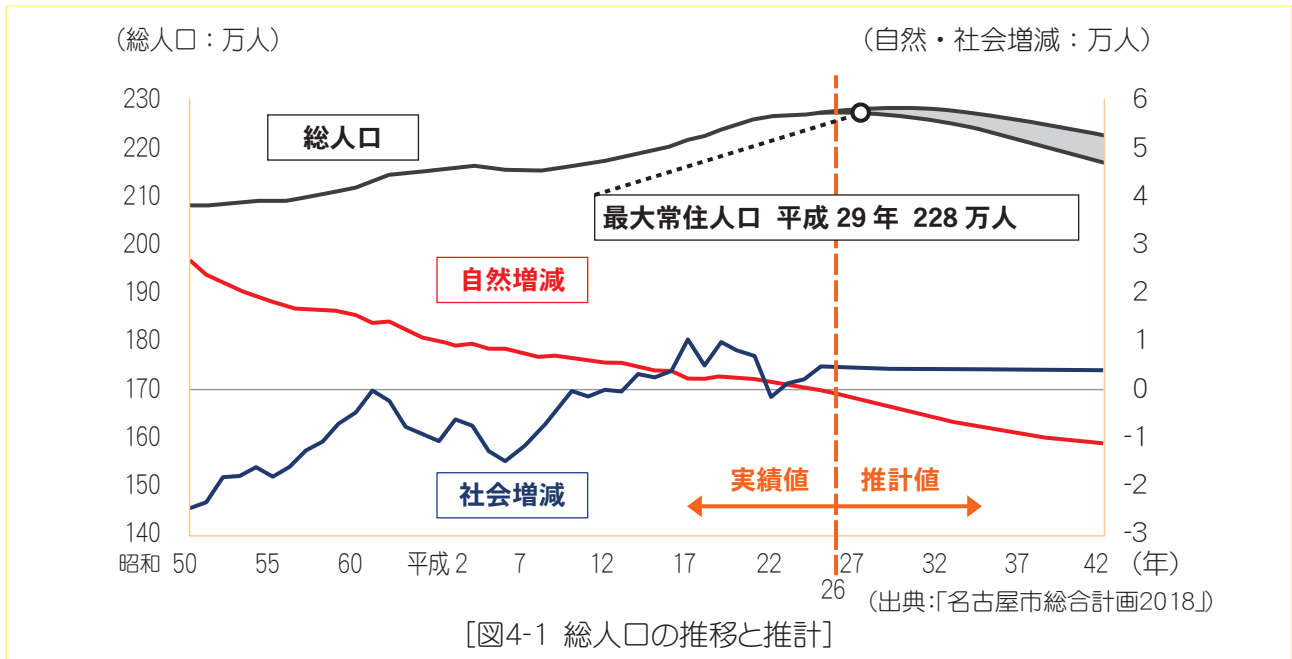
第4章 将来予測

1 人口と世帯数の見通し

「名古屋市総合計画 2018」において示されている、人口と世帯数の将来の見通しは下記の通りです。

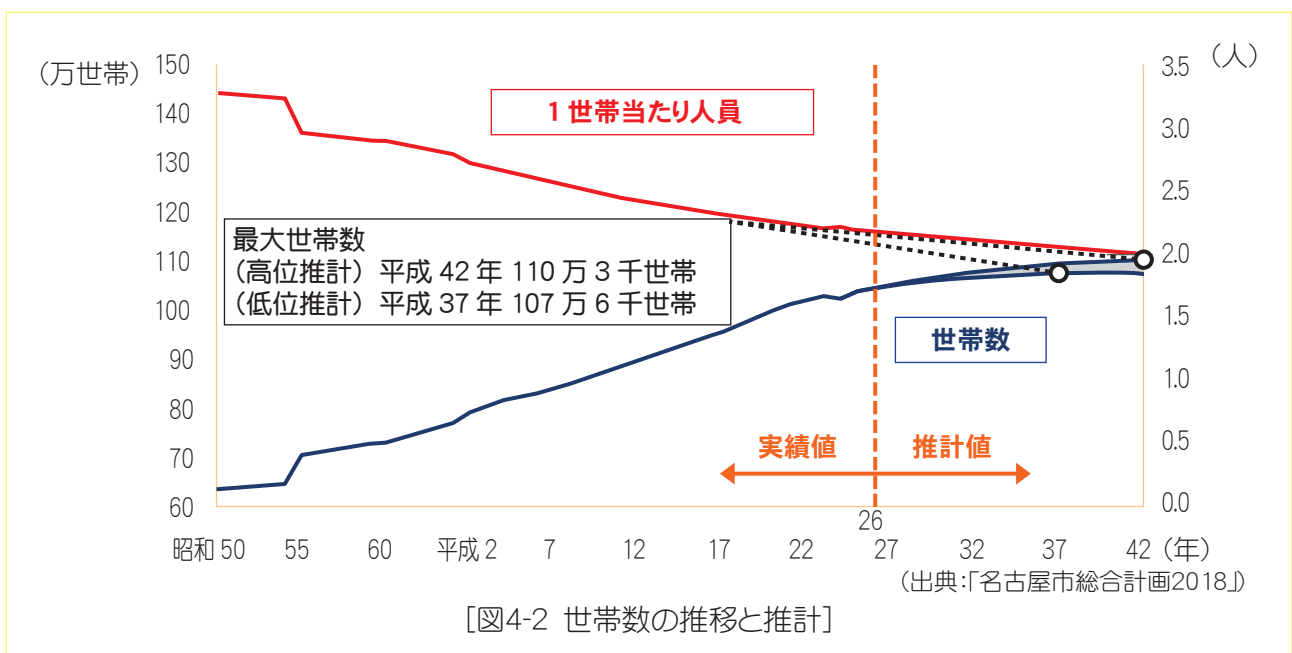
(1) 人口推計

本市の常住人口は平成 29 年 (2017) 頃には減少に転じると予想されます。



(2) 世帯数推計

世帯数は単身世帯の増加などにより増加傾向が続いており、今後も増加すると予想されます。



2 潜在排出量の将来推計

(1) 将来推計の考え方

5次計画の目標値を設定するにあたり、「名古屋市総合計画 2018」で示された人口・世帯数の見通しに基づき、ごみと資源を合わせた総排出量をベースに、潜在排出量の将来推計を行いました。

潜在排出量とは、現在実施している施策を維持しつつ、新たな施策を実施しない場合のごみ・資源の発生量の合計です。

家庭から排出されるごみ・資源

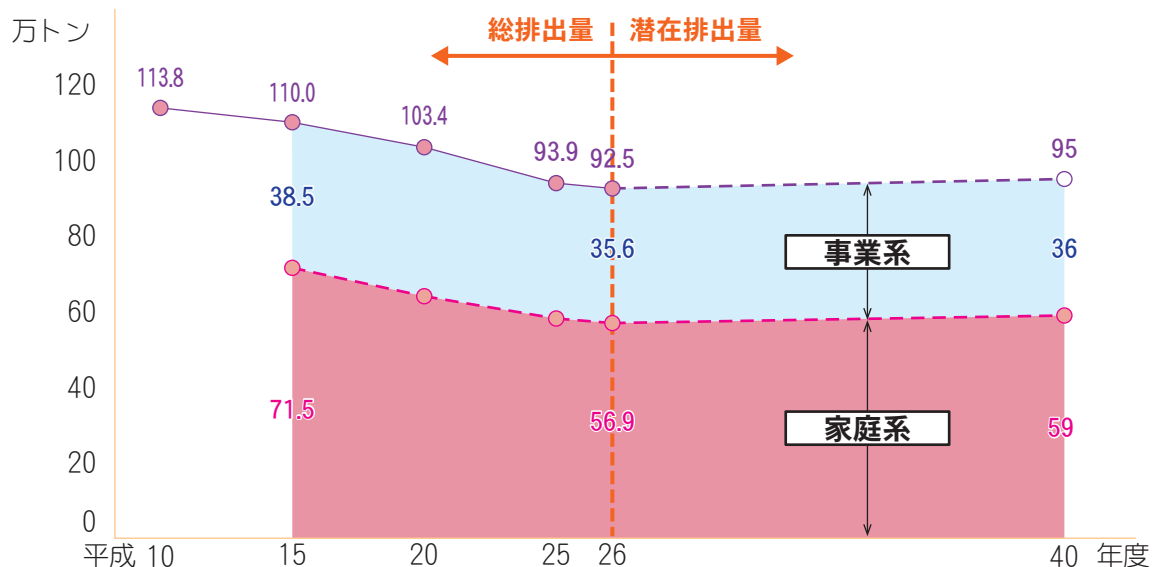
- ・「名古屋市総合計画 2018」の人口・世帯数の将来の見通しを勘案
(高位推計：人口 約 2%減少、世帯数約 5%増加)
- ・平成 26 年度の発生抑制を維持

事業活動に伴って排出されるごみ・資源

- ・平成 26 年度の総排出量にリニア開通(平成 39 年度予定)に向けた再開発を勘案
- ・平成 26 年度の発生抑制を維持

(2) 将来推計値

上記の考え方に基づいた将来推計では、平成 40 年度のごみ・資源の潜在排出量は、95 万トンとなります。



[図4-3 潜在排出量の将来推計]